

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

別添資料11

公表：令和3年3月19日

事業所名 放課後等デイサービスさんきゅー 保護者等数(児童数) 20 回収数 11 割合 55 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	4	0		・コロナには密かなと感じる。	・支援の内容に応じて、リミックスルーム、学習ルームを拡大利用する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2	0			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	6	0		・外に段差あり。事業所内に殆ど入ったことがないので分からない。	・バリアフリー対応は十分になされている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	0	0			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	0	0		・様々な活動をしていただけている。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6	2			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	0		・支援内容や料金についての説明はしていただけました。	・保護者の要望を踏まえながら計画作成し、必ず支援の内容の説明をしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	0		・送迎時の際に、その日の様子を教えていただける。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	7	4		・あるかどうか分からない。	・保護者の意見を聞きながら、保護者会のあり方について今後検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	1		・こちらの要望に対しても柔軟に対応していただけっている。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2	0			・連絡帳、送迎時の対話、電話、Facebook等で常に連絡を絶やさないよう心がけている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4	2			・Facebookでの発信のみではなく今後あらゆる方法で本施設からの諸発信を継続的にできるようにする。
14 個人情報に十分注意しているか	10	1	0				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	7	0			・事業所内のマニュアル公開の機会を検討していきたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1	9		・様々な災害を想定した避難訓練の実施を願う。	・計画をしていきたい。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0		・毎回楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	11	0	0		・とても満足している。 ・子どもの表情を見てると楽しかったことが伝わっている。	今後も多様な体験の提供を計画していきたい。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月19日

事業所名:放課後等デイサービスさんきゅー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	日常利用スペースに加えて、リミックスルームと学習スペースに分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1		管理者1名、児発管1名、児童指導員3名、保育士1名、指導員2名配置。人員基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	日常活動スペース、リミックスルームには段差はない。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	ミーティング・申し送りノートを活用している。	毎日のミーティングで前日の支援の振り返り、職員連絡ノートで支援や運営に関する情報を共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		アンケート結果を職員会議で協議し、業務改善の取り組みを実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		適切な第三者の選定も含め、外部評価の実施を検討していく予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	5		例年県主催の研修参加等実施していたが、感染症対策のため参加は見送り。参加方法も含め、今後検討していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		毎月のカンファレンスと6か月に一回の個別支援計画内容に対してのモニタリングを実施し、計画内容の見直しをしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		初回のアセスメントにて相談支援専門員と児発管で行っているが、標準化したツールの活用を研修等で取り入れていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎月の活動計画を職員会議等で立案検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	季節や年中行事等を考慮し、多様なプログラムを実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	平日、休日、長期休暇の特質に応じて、基本的な活動の流れが定まっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	個別支援計画に沿って実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎日必ず実施し、内容や役割分担、配慮事項などの確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	翌日のミーティングで情報を共有し、緊急の内容については当日に話し合いの時間を設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	毎日の支援記録の作成と、その内容に沿った情報交換にて対応している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		定期的にカンファレンスとモニタリングを継続実施し、個別支援計画の内容を改善更新している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	1		子どもの最善の利益を考慮し、遊び・学習・創作・体験を踏まえた支援を実施している。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	管理者・児発管・児童担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	毎月月末に予定表を保護者に配布。変更時書き込みを依頼し、再提出していただくなどで対応。各学校からも次月の予定表、年間スケジュール表等いただいている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		医療的なケアが必要な児童は現在利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6		他の事業所を含めた支援会議にて情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	7		他の事業所を含めた支援会議にて情報共有をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		現在は受けていないが、必要に応じて専門機関と連携が図れる体制を整えていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		交流の必要性がないため、実行していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		必要に応じて管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	連絡帳、送迎時の対話、電話、Facebook、さんきゅー便り等で随時連携を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5		保護者からの相談は随時受けており、保護者への支援と助言も適宜実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	契約時に説明を実施している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		保護者からの相談は随時受けており、保護者への支援と助言も適宜実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3		実施に関する保護者の意向も様々であり、保護者会のあり方を検討中である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		保護者との信頼関係を土台に迅速な苦情対応ができており、職員との情報共有や業務改善もなされている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		さんきゅー便りや通知等を発行し周知を図っている。大きな行事については必ず参加の希望を取り実施している。
	35	個人情報に十分注意している	7	0		今後も個人情報の保護・管理については職員への周知と指導を徹底していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	退所時に保護者へその日の活動の様子と支援内容を報告し、連絡帳にも記載している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	同法人の介護施設の高齢者との関りはある。	実施はしていないが、地域の集会所にある公園を利用させていただいている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		マニュアルに沿って内部研修を実施している。保護者には契約時に説明し対応している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	4	年に一回避難訓練を実施している。	あらゆる災害に備えた、多様な訓練の実施を計画していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	3		内部研修を実施している。感染症対策を行ったうえで外部の研修への参加していききたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0		契約時に保護者に説明をし承諾を得ている。個別の支援計画には記載はしていない。突発的な行動がみられる児童に関しては保護者と協議し個別の支援計画に記載することを検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		現在医師の指示書を受けている児童はいない。契約時に必ず確認するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハット報告書を作成し、職員会議を活用し資料を配布し、対応策等を話し合う機会を設けている。	